



共に伸び、共に輝け、感謝・感動

しなやか えだわん



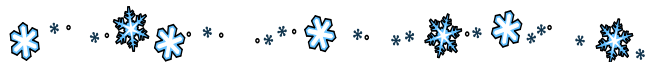
えだわんだより

横浜市立荏田東第一小学校

◆〒224-0006 横浜市都筑区荏田東三丁目5番1号

◆Tel…045-941-7630 Fax…045-942-9464

◆<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edahigashi/>



地域の行事に参加して

副校長 矢崎 純一

1月下旬、記録的な寒波に日本中が見舞われました。学校敷地内のメダカ池一面に氷が張り、その寒さを物語っていました。横浜市内では積雪は記録されませんでした。例年この時期の子どもたちからは降雪・積雪をととても楽しみにしている様子が見て取れます。「子どもたちに雪遊びを経験してほしい」と思いつつ、子どもたちの安全な登下校を守る立場の私たちからは「雪は降っても積もらないでほしい」と願いもあり、何とも複雑な気持ちで天気予報に注目していました。

さて、政府は新型コロナの感染症法上の位置づけを5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に引き下げる方針を固めたとの報道がありました。国の方針が示された後に横浜市としてのガイドラインが決まり、それを受けて横浜市立小中学校では感染対策を講じてまいります。今後、横浜市から衛生管理マニュアルが示されますが、本校もそれに則り、子どもたちや保護者の気持ちにも寄り添いながら感染対策を検討し決定していくこととなります。

感染症法の取り扱いについての報道が行われる少し前に、2年ぶりのどんど焼きが学区内の公園で行われました。時折小雨が交じる土曜日の午後でしたが、町内会からは100名ほどの人々が公園に集まり、松の内まで飾っていた松飾りやしめ縄、お正月にしたためた書き初め、お守りなどを持ち寄り、燃やしました。

本校学校運営協議会の会長でもあります長沼自治会長の挨拶では、自治会のどんど焼きの歴史や由来など、次のように説明がありました。



- 昔は小正月にあたる1月15日に正月飾りや書き初めなどを持ち寄って燃やしていた。
- どんど焼きの火で焼いた餅を食べると一年間無病息災で過ごすことができると言い伝えられている。
- 昔はコウゾやミツマタの枝に刺して餅を焼いていたが、今はその代わりに縦に割いた竹を使って餅を焼いている。
- 餅を焼くために使った竹を玄関に飾ると一年間無病息災で過ごすことができる。

そして今、どんど焼きで使った竹が2本、えだわんの子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様の無病息災の願いを込めて、2交の職員玄関に飾られています。来校されました際は、ぜひ御覧ください。